

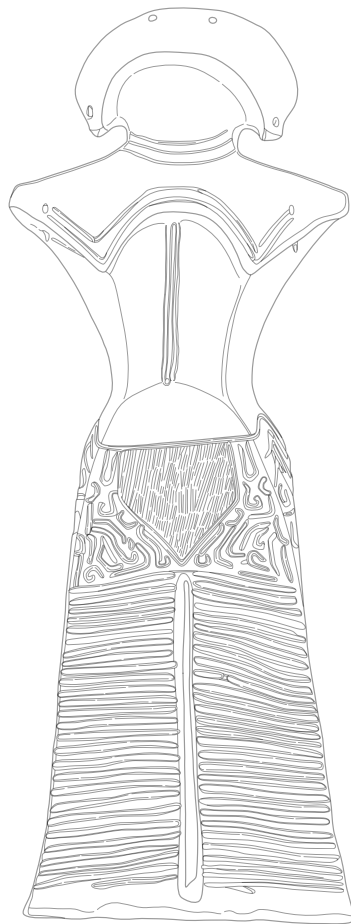
ISSN1341-397X

年 報

令和4年度

令和5年5月

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター



序

山形県埋蔵文化財センターは、平成5年に財団法人として創設以来、また平成24年からは公益財団法人として、関係諸機関のご支援・ご協力をいただきながら取組みを進めてまいりました。本年度における当センターの事業につきましては、計画した事業の全てについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、調査事業においては、5遺跡6件の発掘調査と延べ7遺跡の報告書作成のための整理作業を実施し、1件の発掘調査報告書を刊行いたしました。本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少が引き続き見られ、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業もピークを過ぎたことから、現在進められつつある高速道路の県境部分の整備やこれからの県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

普及啓発事業につきましては、昨年度から山形県の委託を受け、『出前授業』や『市町村巡回展示』『発掘作業体験』『遺跡体感ツーリズム』などの事業を実施してまいりました。一昨年度から続く新型コロナウイルス感染が終息しない中ではありましたが、感染防止対策を充分に行い、多くの県民からご参加をいただきました。また、SNSやホームページによる情報発信、発掘調査遺跡の調査成果一般公開、発掘調査速報会などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆様にお知らせしてまいりました。今後とも埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢を以て、今できることを工夫して普及啓発事業を推進してまいります。

山形県埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の伝統文化の大切さを伝えるため、あるいは誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えていけるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

令和5年3月31日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
理事長 西澤 恵子

目次

I. 管理運営概要

1. 沿革	1
2. 組織	
(1) 役員及び評議員	1
(2) 職制及び人員	2
(3) 組織	2
(4) 職員	3
3. 施設	4

II. 業務概要

1. 調査業務	5
(1) 調査遺跡一覧	6
(2) 調査遺跡の概要	
水林下遺跡 第3次	8
鶴ヶ岡城跡 第3次	12
鶴ヶ岡城跡 第4次	16
山形城三の丸跡 第23次	20
北向遺跡 第3次	24
原の内A遺跡 第4次	28
中野目II遺跡	32
杉沢C遺跡 第1・2次	33
2. 普及啓発・研究等業	
(1) 受託事業	
①出前授業	34
②発掘調査速報会	34
③遺跡・史跡パンフレット	34
④市町村巡回展示会	35
⑤体験学習会	35
⑥遺跡体感ツアー	36
⑦SNS情報	36
⑧出土品貸出等	36
(2) その他	
①調査説明会・調査成果一般公開	38
②来所者	38
③職員派遣等	40
④啓蒙物品等貸出	41
⑤出版物	41
⑥ホームページ	42
(3) 研修等	42
(4) 情報処理	42